

令和6年度

産業デジタル実装支援

補助金

[4次募集]

事業費
の御案内

デジタルを活用した生産性向上や経営変革（DX）の取組を支援します！

補助対象者

県内の中小企業・小規模事業者

（県内に本社又は主たる事務所を有する事業者、県・市町村から企業立地認定を受けている事業者）

補助対象事業・補助率・補助金額（2タイプ）

区分	補助対象事業	補助率	補助金額
TYPE2	TYPE1より高度な業務プロセスの見直しを含むデジタル技術等の導入に要する経費	1/2	上限：500万円 下限：100万円
TYPE3	TYPE2より高度なAIやIoTなどのデジタル技術等の導入やデジタルを活用した経営の変革（DX）につながる取組に要する経費	1/2	上限：2,000万円 下限：500万円

※特に県内において**モデルケース**となるような事業を募集します
※残予算の枠内での選定・補助となります。

補助要件

- ① 労働生産性を年1%以上ずつ増加させる取組であること
（翌年以降3か年間で合計3%以上増加させる事業計画が必要）
- ② 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する「SECURITY ACTION」の「★一つ星」または「★★二つ星」いずれかの宣言を補助事業の完了日までに行うこと

予算額

10,000千円程度 ※申込者の中から、審査を実施し、予算の範囲で選定します。

応募受付期間

令和6年8月6日（火曜日）から **9月12日（木曜日）正午まで【必着】**

※応募状況によっては受付期間に変更がある場合があります

申込先

申請方法

「宮崎県ファイル転送システム」に提出書類をアップロード

下記のお問合せ先に記載のメールアドレスに連絡いただきましたら、返信メールに提出資料のアップロードサイト「宮崎県ファイル転送システム」のURLをお送りしますので、当該サイトから提案書類をアップロード下さい。

問合せ先

宮崎県 産業政策課 産業デジタル担当 川越

E-mail : (TO) kawagoe-takanori@pref.miyazaki.lg.jp

(CC) sangyoseisaku@pref.miyazaki.lg.jp

TEL : 0985-26-7682

※詳細は、TYPE2・3募集要領を御確認ください。



令和5年度実装事例

〔WEBカメラ&AIによる食材残量監視及び検知〕

料理残量の判定を人からAIに変革し、必要な時に必要なタイミングでホール・キッチンのスタッフに周知できるシステムを導入

〔業務の属人化を解消するシステム化導入〕

財務状況や在庫管理、勤怠管理をクラウド管理することで、バックオフィス業務の大胆な刷新による働き方のDXを実現。

〔販売管理システムRPA化と生成AIによる業務効率化〕

属人化している業務をRPA(Robot Process Automation)により省力化。併せて生成AIによる画像生成業務の効率化を実現。